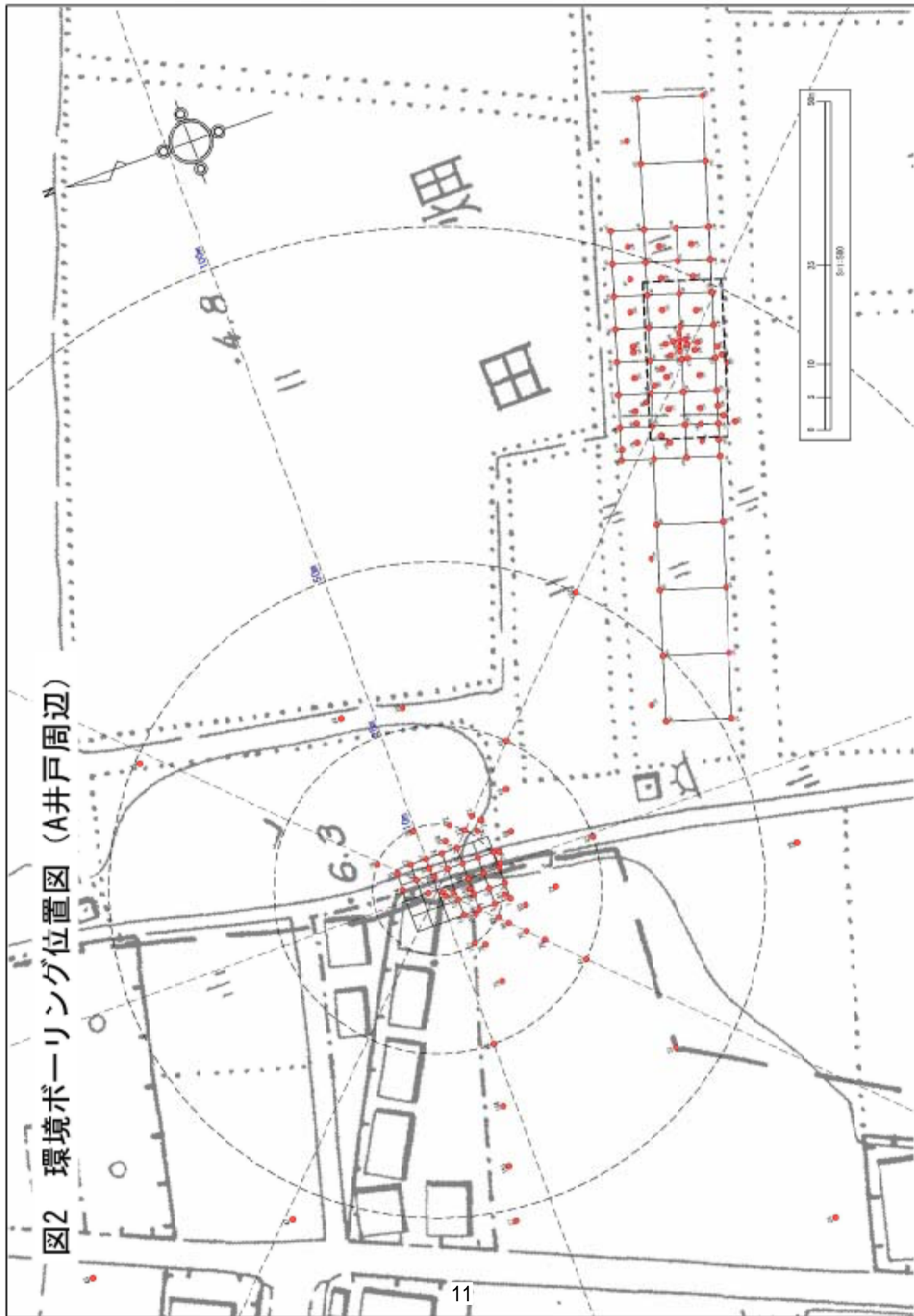


図2 環境ボーリング位置図 (A井戸周辺)



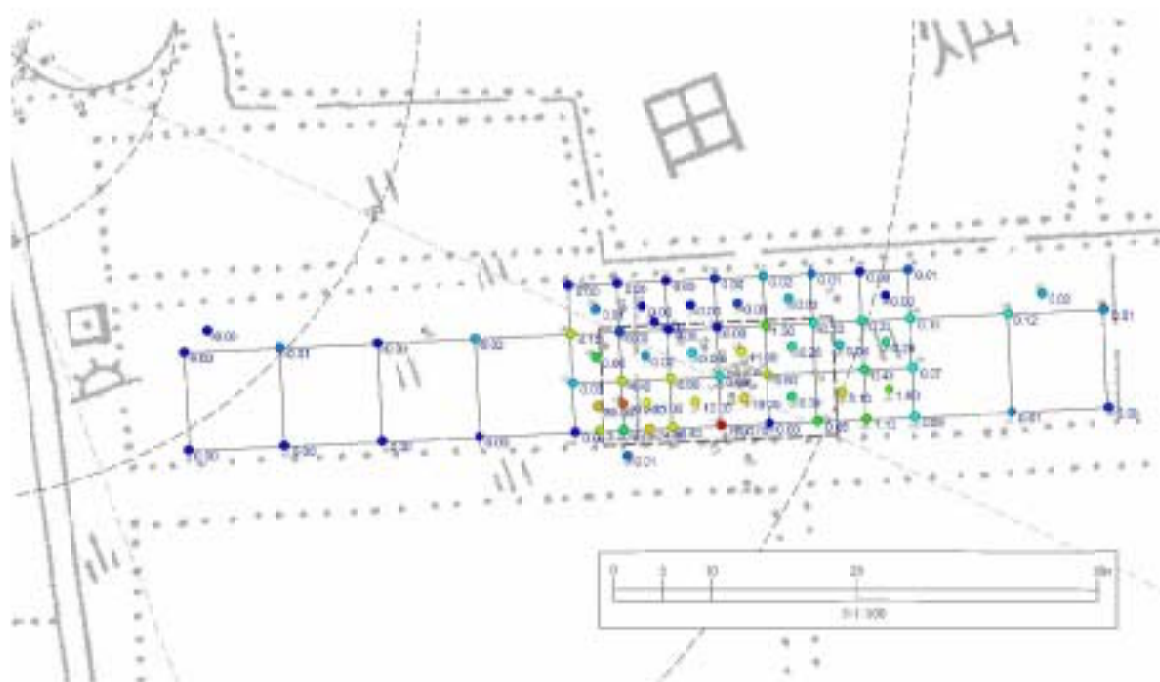


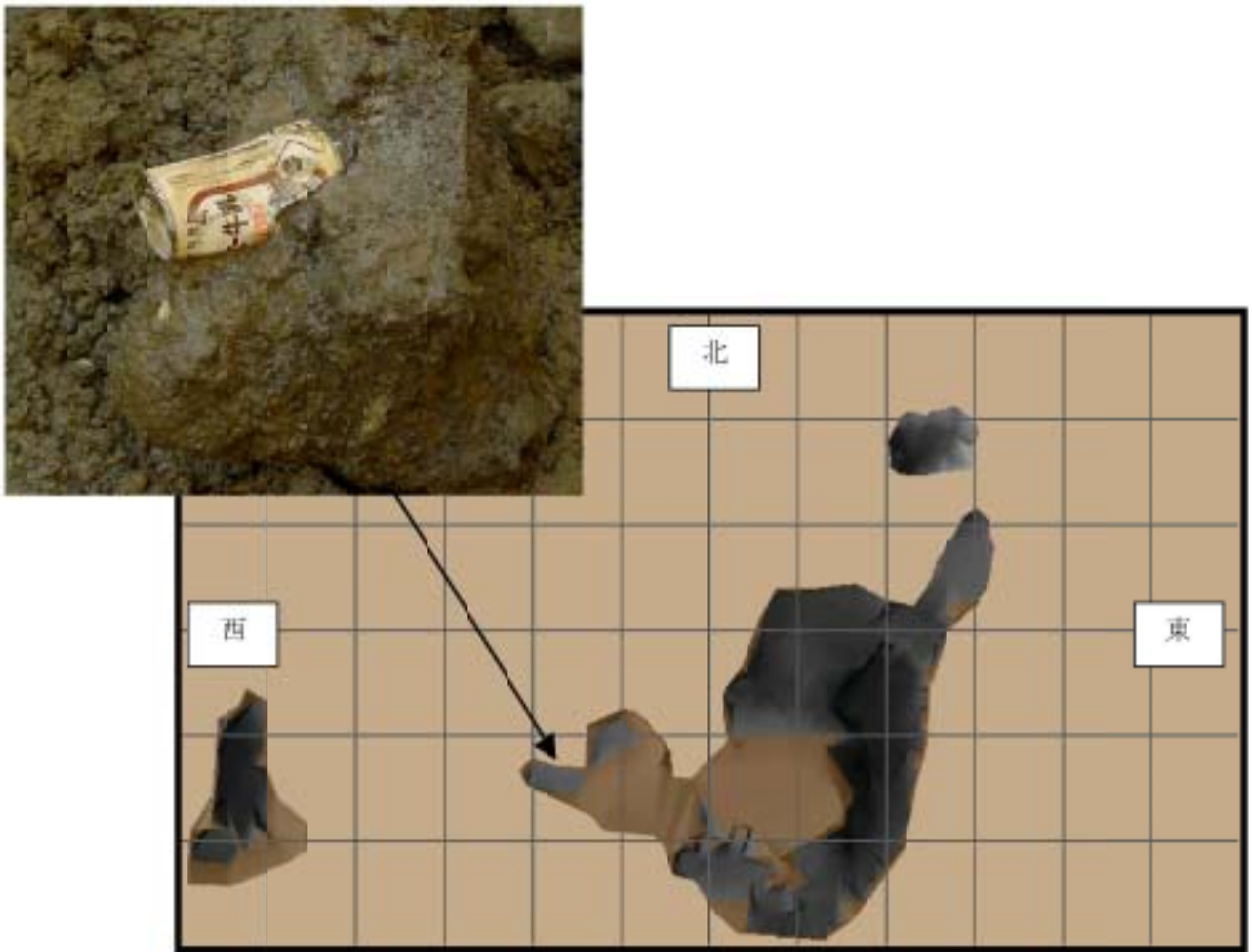
図3 A井戸南東90m付近の深度3.5mの土壌DPA濃度



図4 掘削調査において発見されたコンクリート様の塊
(平成17年1月27日)

試料名		1-3-1コア 上部60cm 上	1-3-1コア 上部60cm 中	1-3-1コア 上部60cm 下	1-2-1コア GL-2.75m 小塊	1-2-1コア GL-3.48m付近 粘土湿じり砂	定量下限
含有量	マスタードガス	ND	ND	ND	ND	ND	0.05
	マスタードジスルフィド	ND	ND	ND	ND	ND	0.05
	ルイサイト1、クロロピニル重アルソ ン酸及びルイサイトオキシド	ND	ND	ND	ND	ND	0.04 *2
	ルイサイト2	ND	ND	ND	ND	ND	0.03
	ジフェニルクロロアルシン	ND	ND	ND	ND	ND	0.3
	ジフェニルシアノアルシン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	ピス(ジフェニルアルシン)オキシド	ND	ND	ND	ND	7.7	0.02
	ジフェニルアルシン酸	1800	3400	4900	1900	310	0.03
	フェニルアルシン酸	190	180	140	130	9.3	0.04
	トリフェニルアルシン	8.3	6.6	6.4	0.54	0.49	0.02
	ジフェニルアルシン化合物*1	1600	2800	3400	1900	340	0.03
	フェニルアルシン化合物*1	160	170	140	160	9.3	0.04
	含水率	18.0	17.2	17.5	12.9	20.2	—
	総ヒ素	2,700	3,800	4,300	1,600	770	—

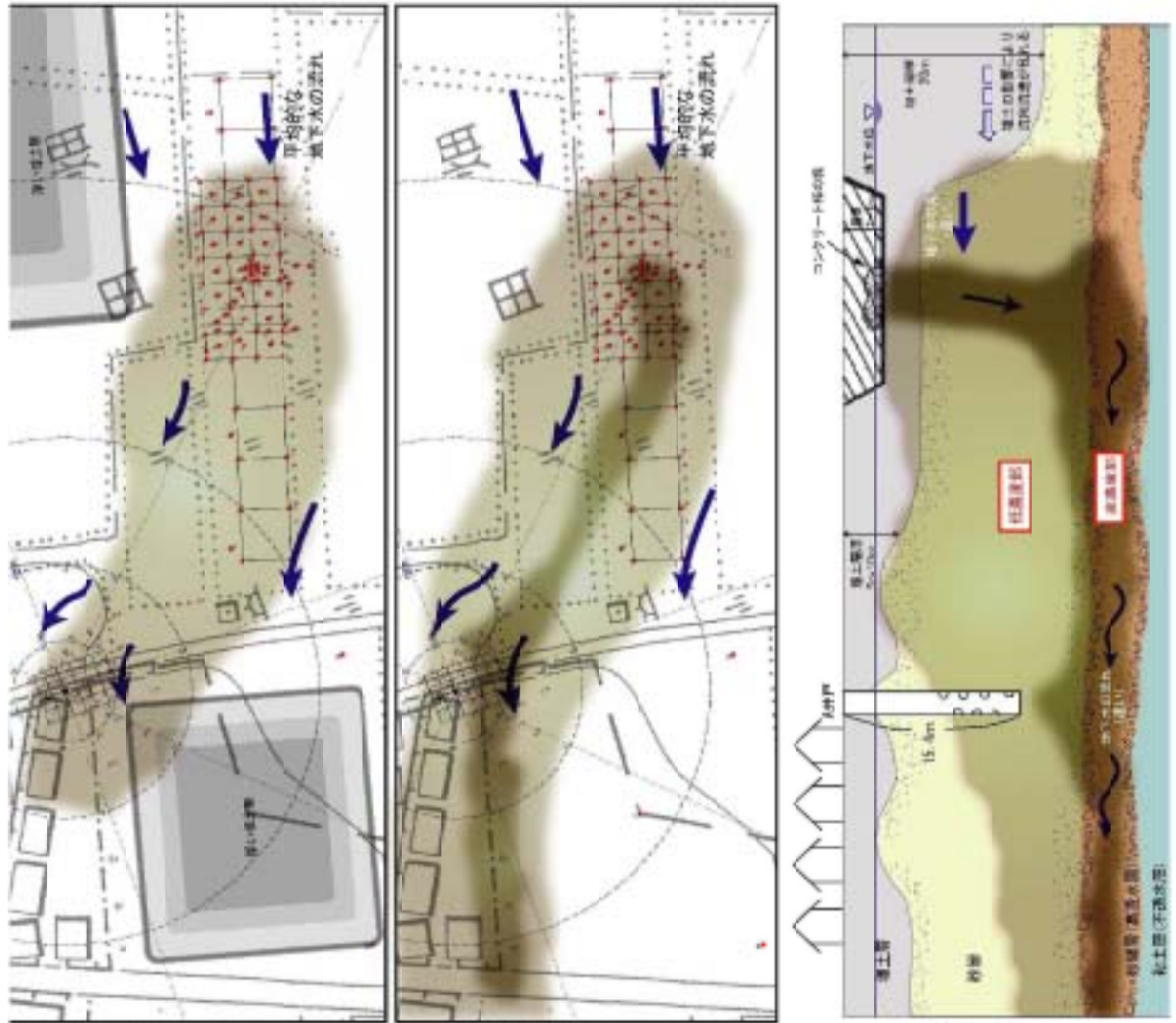
図5 化学剤関連化合物分析結果（ヒ素換算値） 分析機関（財）化学物質評価研究機構



平成5年6月28日製造

図6 コンクリート様の塊中から発見された空き缶

図7 汚染メカニズム



〈浅層部地下水汚染状況図〉
汚染プリユームは、本質的にはA井戸方向へ向かうが深層部には、水本性の低い砂層の連土層が厚層に分布するため流路が乱れ、偏在が顕著となる。

〈深層部地下水汚染状況図〉
高層部は非常に透水性の良い砂層層が分布するため、砂層部に達した汚染プリユームは速い流速に乗って深層部の汚染プリユームより早くA井戸付近を通過し日地区方向へ移動する。

〈地下水汚染様式断面図〉
コンクリート様の塊より浸出した高層部の汚染プリユームは、高層部の水より重い密度により、下方へ浸透する。高層部では道路により汚染をばけ深層部では高い透水性に乗ってより速くへ移動する。